様式７

大崎市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で，診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は，下記の問合せ先にお問い合わせください。

情報の利用停止を希望された場合でも，治療に影響が出ることはございませんので，安心してお申し出ください。

研究課題名	神経内分泌腫瘍患者における腫瘍細胞-免疫相互作用に注目した腫瘍組織微小環境の研究
当院の研究責任者	所　属　：　病理診断科 氏　名　：　坂元　和宏
他の研究機関および 各施設の研究責任者	〈研究責任者〉東北大学医学系研究科病理診断学分野　笹野公伸 〈共同研究機関〉東北労災病院　岩間憲行・仙台厚生病院　赤平純一 仙台オープン病院　澤井高志・石巻赤十字病院　板倉裕子 みやぎ県南中核病院　大藤高志・宮城県立がんセンター　佐藤郁郎 仙台医療センター　鈴木博義
本研究の目的	神経内分泌腫瘍とその他の腫瘍の混在症例，もしくは部分的に神経内分泌への分化を伴う腫瘍症例において，腫瘍微小環境に関連する因子について免疫組織化学検討を行い，神経内分泌への分化を伴うことで腫瘍微小環境がどのように変化するか検索することを目的とする。
研究実施期間	倫理審査委員会承認後　～　西暦　2023 年３月 31 日
調査データ 該当期間	西暦　2001 年１月１日　～　西暦　2018 年 12 月 31 日
研究の方法 （使用する試料等）	神経内分泌腫瘍とその他の腫瘍の混在症例、もしくは部分的に神経内分泌系への分化を伴う腫瘍症例において CD3, CD4, CD8, Treg, PD-L1, PD-1, vasohibin, CD31、および mTOR 関連因子等に関して免疫組織化学的検討を行い、神経内分泌系への分化を伴うことで腫瘍微小環境がどのように変化するか検討する。その際、腫瘍細胞、浸潤する炎症細胞、間質細胞における発現を比較検討する。

使用する試料等	試料：肝臓、胆嚢、膵臓、消化管、肺の手術を受け（外科的、内視鏡的切除を含む）、神経内分泌系への分化を示す切除術が行なわれた症例の病理組織検体 情報：年齢・性別・発生部位・組織型・病理学的Ｔ因子・病理学的Ｎ因子・臨床的Ｍ因子・転帰等
試料情報の他の研究機関への提供および提供方法	提供先：東北大学医学系研究科病理診断学分野 提供方法：直接手渡し・郵送・宅配
個人情報の取り扱い	情報は，お名前，住所，電話番号など，個人を特定できる情報は削除し，匿名化した状態で登録，保管，解析されます。登録された情報は東北大学医学系研究科病理診断学分野にて厳重な管理のもと保管されます。 本研究の研究成果は学会等で発表を予定していますが，個人が特定される形で情報が公開されることはありません。
本研究の資金源（利益相反）	研究に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先 （照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先）	住所：大崎市古川穂波三丁目８番１号 電話： 0229-23-3311 研究責任者　大崎市民病院　病理診断科　坂元　和宏
備考	